

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-2-4 障がい者の自立支援
---------	----------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	障がい福祉課長 長岡 秀樹	電話番号	0852-22-6256
----------	---------------	------	--------------

事務事業の名称	障がい者地域生活支援事業		
目的	(1) 対象	障がい者	
	(2) 意図	能力や適性に応じた自立生活を営むことができるよう、移動や生活、コミュニケーション支援等のサービスを提供し、障がい者の社会参加を促進する	
事業概要	○障がい者の社会参加のための事業をするために、市町村に地域生活支援事業補助金を交付する。 ○障がい者の社会参加を促進するために、指導者育成、生活訓練、啓発広報等の事業を県障害者社会参加推進センター等へ委託する。		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 手話通訳者登録数	目標値		63.0	67.0	71.0	75.0	人
		取組目標値						
	式・定義 手話通訳者登録数	実績値		65.0				
		達成率		-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率		-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	291,111	315,434
うち一般財源(千円)	276,321	293,950

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

○成果参考指標の手話通訳者登録者数は、手話通訳者全国統一試験合格者数が少ないこと、登録を辞退する通訳者がいたこと等により目標値を下回っている。  
 ○地域生活支援事業については、県事業、市町村事業ともに事業費が年々増加している。

	〔県分〕	〔市町村分〕	〔合計〕
H26	157,649千円	788,698千円	946,347千円
H27	165,235千円	860,844千円	1,026,079千円

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

地域生活支援事業については、県事業、市町村事業とも事業費が伸びており、障がい者の社会参加や地域での自立した生活を支援するための取り組みが充実してきている。

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
- 手話通訳者の登録者数が伸びていない。
  - 国からの補助金が補助所要額を大幅に下回っている。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 全国統一試験合格者が少ない。(H24~H26は各1名、H27は2名)
  - 国からの補助額が補助所要額を大幅に下回っている。
- ③原因を解消するための「課題」
- 手話通訳者養成講習会や統一試験事前研修会の内容見直し、充実が必要。
  - 国からの補助額の確保が必要。

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

○手話通訳者全国統一試験の合格率が高い都道府県の状況を参考にしながら、統一試験合格のためのより効果的な講習会等の実施を検討する。  
 ○市町村における地域生活支援事業については、サービス提供体制の拡充や利用者ニーズの高まりにより、今後も事業費の増加が見込まれるため、国に対し、実情を反映した規模の予算確保について引き続き要望する。

## 9. 追加評価(任意記載)

課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。  
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。